

6. eラーニングでの履修方法

1) eラーニングシステム (WebCT) へのアクセス方法

①熊本大学ポータルURL (<http://uportal.kumamoto-u.ac.jp/>) にアクセスし、熊本大学 ID を確認し、統合認証システムへログイン。学生番号と初期パスワードは、学生証の裏面にシールを貼付しています。(シールの上段が学生番号、下段が初期パスワードとなります。)

熊本大学IDとパスワードを入力してください (熊本大学ID確認) (パスワード変更)

Service Provider: cas.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学ID:

パスワード:

表示言語(Display language): 日本語

ユーザ情報送信の同意を解除する

ログイン

②「熊本大学 ID 確認ページ」で、学生番号とパスワードを入力して「submit」ボタンをクリックしてください。

熊本大学ID確認ページ

(*) 熊本大学IDは9文字です。
先頭2文字の英字と残り7文字の数字で構成されています。

教職員番号もしくは学生番号とパスワードを入力してください。

ユーザーID (例 135z4321):

現在のパスワード:

入力したらこのボタンを一度だけ押して下さい。これは、取消ボタンです。 submit reset

E-mail: chpass-adm@cc.kumamoto-u.ac.jp



③表示されるユーザーID 選択ウィンドウで、学生番号が正しいかを確認後、「ログイン」をクリックします。

Languages: [English](#) | [Japanese](#) | [Chinese](#)

Kumamoto University
統合認証システム

ユーザーIDを選択してください

ユーザーID:
 [redacted]

ログイン

セキュリティ上の理由から、認証が必要なサービスのアクセス終了時には、ウェブブラウザをログアウトし、終了してください。

④ログイン後、「全学LMS（eラーニングシステム）WebCT」をクリックします。

熊本大学ポータル
熊本ポータル | 学内情報 | 時間割

お知らせ: 新着情報

教職員の皆様へのお知らせ

- 25/09/19 [新・Web給与明細システム \(学内専用\)](#) の運用を開始しました。(人事・労務ユニット)
- 24/11/1 [統合認証対応システム問合せ先一覧](#) を掲載しました。(情報企画ユニット)
- 24/10/10 [ソフトウェアライセンスの適正な管理について \(依頼\)](#)。(情報企画ユニット)
- 23/9/16 [ネットワーク環境における著作権侵害行為の防止・排除について \(通知\)](#)。

ファイル交換ソフトウェアの学内での利用は禁止されています

統合認証対応システム

- 学務情報システム SOSEKI
- CALLシステム
- 全学LMS (e-Learning System) WebCT**
- 全学LMS (e-Learning System) Moodle
- このポータルでの「印刷」タブも活用下さい。
- 履修カルテシステム (教員免許担当者用)
- 職員録システム
- スケジュール・指示板システム
- 事務手続き資格 応答集システム
- 図書館システム (M/Library)
- 大学評価データベースシステム TSUBAKI
- IT資産管理システム
- サイトライセンスソフト・ダウンロードシステム
- 授業改善のためのアンケート結果公開システム
- Web給与明細システム
- 物品/旅費/謝金業務管理システム(研究用/事務用)
- 熊本大学Web付添用サイト(一部対象者)
- 放射線取扱者ID管理システム
- 就業管理システム (一部対象者)
- 兼業システム
- ID管理システム
- eラーニング(ICT)を活用した教育実践に係る調査

クリック

⑤ My blackboard には SOSEKI で登録した授業科目名の一覧が載っています。授業科目名をクリックすると、Web CT 上の当該授業科目のトップページ（科目内の講義リスト）が表示されます。

Ku University
マイ設定 | ブラウザチェック | ヘルプ | ログアウト

My Blackboard | コンテンツ管理

ようこそ、加島 雅之 さん。今日は 2009年11月25日 17:09 JST です。

チャンネル | 色 | レイアウト

今日の予定

現在、今日のエントリはありません。

To Do リスト

現在、項目はありません。

成績表

医学教育部(09前) 機能再建医学理論(2009...

- 新しい成績: 第4回 理解度テスト(合計)
- 新しい成績: 第7回 理解度テスト(合計)
- 新しい成績: 第3回 理解度テスト(合計)
- 新しい成績: 第9回 理解度テスト(合計)
- 新しい成績: 第6回 理解度テスト(合計)

コース一覧

医学教育部(09前) - 機能再建医学理論(2009-68-20160)

ゼンセン/教員: 水田 博志, 芳賀 克夫, 高橋 毅, 尹 浩信, 川崎 理雄, 木下 順弘, 井手 洋二, 石原 剛, 中村 孝一, 國友 隆二, 河野 宏明

外部コース

現在、あなたの外部コースはありません。

今週の予定

現在、今週のエントリはありません。

キャンパス連絡事項

現在、連絡事項はありません。

個人ブックマーク

現在、ブックマークはありません。

キャンパスブックマーク

- eラーニング推進機構【WebCTのページ】
- 総合情報英盤センター
- 統合認証パスワード変更...
- 情報教育システムホーム...
- 大学院社会文化科学研究...
- 熊本大学ホームページ
- How to change your language
- eLC
- 放送大学 ICT活用・遠隔...

授業科目名をクリック

- ⑥ 各講義ページに入り、講義ビデオと配布資料を利用して学習します。その後、理解度テストを受け、合格点に達するとその講義の受講が完了したことになります。受験後、理解不十分な箇所を確認し、再学習し、2回までeラーニング履修しテストを受けることができます。

Kumamoto University Accessibility | Help

Build Teach **Student View** 医学教育部(10前) - 発生再生医学理論(2010-68-20080)

Your location: Home Page

発生再生医学理論

Lecture Series "Riron": B7 Development and Regenerative Medicine

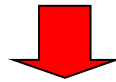
科目主任教員 : 西中村 隆一 (ryuichi@gpo.kumamoto-u.ac.jp)

分担教員 : 福田 孝一、川井 克司、本間 智、荒木 正健、中湯 直己、田中 聡、桑 昭苑、江良 祐実

■ 授業の目標 ■

発生医学は、発生学的視点に基づいて疾患の病態解明と治療法の確立を目指す学問であるが、その手法や考え方は、もはやどの領域を研究する際にも必須となっている。発生再生医学理論では、特にその技術的側面に重点を置いて、基礎的知識を理解することを目標とする。発生・再生医学研究者育成コースの受講者にとっては特論講義の理解の基盤となるよう、他コースの受講者にとっては発生工学的手法の理解と利用に必要な不可欠な知識の獲得を目指す。
[in English]

- 第1回 生殖工学I <J&E>
Title: Reproductive engineering I
担当教員 : 中湯 直己 (Naomi NAKAGATA)
※このコンテンツは2008年度・2009年度の講義ビデオをもとに作成しています。
- 第2回 生殖工学II <J&E>
Title: Reproductive engineering II
担当教員 : 中湯 直己 (Naomi NAKAGATA)
※このコンテンツは2008年度・2009年度の講義ビデオをもとに作成しています。
- 第3回 ES細胞, iPS細胞の樹立と応用 <E>
Title: ES cells, iPS cells



Kumamoto University Accessibility | Help

Build Teach **Student View** 医学教育部(10前) - 発生再生医学理論(2010-68-20080)

Your location: Home Page > 第1回 生殖工学I > 生殖工学I

生殖工学I

◆ 講義概要

講義日時:平成22年6月10日(木) 6限目 (Thu, Jun 10, 2010) (Japanese & English - An English version of lecture is also available.)

講義ビデオ (日英どちらでも可)

概要:
この回では遺伝子改変マウスと生殖工学について学びます。

講義資料: B7_01(PDF:5,013KB) **講義資料**

◆ 講義 & 理解度テスト

この講義は以下のセクションに分かれています。

理解度テスト (日英どちらでも可)

Table of Contents for 第1回 生殖工学I

- 生殖工学I
- 講義 & 理解度テスト
 - 1. イントロダクション
 - 2. マウスと遺伝子改変マウス
 - 3. 遺伝子改変マウスに関する国際状況
 - 4. 生殖工学の歴史
 - 第1回 理解度テスト
- Lecture & Tests (in English)
 - Reproductive engineering I
 - 1. Development of laboratory mouse as research model
 - 2. Mouse embryo bank in world
 - 3. Mouse embryo bank in Kumamoto University
 - 4. Reproductive engineering techniques
 - 1st Test

※注意 セミナー科目については、履修方法が異なります。詳細は、「D1 医学・生命科学セミナー」および「D2 名医に学ぶセミナー」のeラーニングコンテンツ内に明記していますので、その手順に従ってください。

2) eラーニングシステム (Moodle) へのアクセス方法

熊本大学ポータルサイトにログイン後、「全学 LMS (eラーニングシステム) Moodle」をクリックします。

- ① Home には SOSEKI で登録された授業のコースが表示されます。該当する年度の medic をクリックすると Moodle 上の当該授業科目のトップページ (科目内の講義リスト) が表示されます。



- ② 各講義ページに入り、講義ビデオと配布資料を利用して学習します。その後、理解度テストを受け、合格点に達するとその講義の受講が完了したことになります。受験後、理解不十分な箇所を確認し、再学習し、2回までeラーニング履修しテストを受けることができます。

生体分子情報学理論【Pathophysiology and Structural Biochemistry of Biomolecules】(2013-68-20020m)

あなたは 坂田 千鶴 としてログインしています (ログアウト)

マイホーム ▶ 2013-68-20020m 編集モードの開始

活動

- フォーラム
- リソース
- 小テスト

管理

ナビゲーション

マイホーム

- サイトホーム
- サイトページ
- マイプロフィール
- 現在のコース
- 2013-68-20020m
 - 参加者
 - バッジ
 - 一般
 - 科目概要/ Subject outline
 - [eJ-0]第1回 心血管病のメカニズム(1)
 - [eE-0][eJ-0]第2回 心血管病のメカニズム(2)
 - [eJ-0]第3回 心血管病のメカニズム(3)
 - [eE-0][eJ-0]第4回 糖・脂質代謝の病態生理(1)

ニュースフォーラム

科目概要/ Subject outline

Pathophysiology and structural biochemistry of biomolecules
生体分子情報学理論

Lecture Series "Riron": B1 Pathophysiology and structural biochemistry of biomolecules

科目主任教員： 光山 勝慶 (kimmitsu@kumamoto-u.ac.jp)

分担教員： 頼中 方一、山縣 和也、小椋 光、山中 邦俊、瀬戸山 千秋、野見山 尚之、入江 徹美

公開期間： 2013.6.1-2013.12.31(コンテンツによっては別記期間が設定されています)

■ 授業の目標 ■

(1) 高血圧、心肥大、動脈硬化等の循環器疾患の機序及び薬物療法について理解することを目的とする。
 (2) 人体における基本的な糖・脂質代謝動態とその調節制御機構、糖尿病やメタボリックシンドローム、脂質代謝異常との関連などについて理解する。
 (3) ATPase、特にAAAファミリータンパク質の分子基盤、多様な細胞機能及び各種疾患における役割について理解する。
 (4) タンパク質に担けられた固有の特異性は、そのタンパク質の特定の構造基盤の上に構築されている。本授業では、タンパク質の三次元構造の概略と構築原理に基づいて、その機能発現の作用原理を理解させることを目標とする。
 (5) 薬物情報分析学では、糖能性糖質と生体脂質・タンパク質との相互作用およびその生命科学領域への応用について理解することを目的とする。

☆B1レポート課題☆
 受講した講義より1分野を選択し、講義担当教員へレポートを提出すること。
 課題については、各分野の授業担当教員にお問、合わせ下さい。

理解度テストについて / About the tests

1. 理解度テストの受験回数はそれぞれ上限を2回までとします。

Course Menu

- 科目概要/ Subject outline
- [eJ-0]第1回 心血管病のメカニズム(1)
- [eE-0][eJ-0]第2回 心血管病...
- [eJ-0]第3回 心血管病のメカニズム(3)
- [eE-0][eJ-0]第4回 糖・脂質...
- [eE-0][eJ-0]第5回 糖・脂質...
- [eE-0][eJ-0]第6回 糖・脂質...
- [eEJ-0]第7回 タンパク質の一生を...
- [eE-0][eJ-0]第8回 AAAタ...
- [eEJ-0]第9回 ヒト疾患に関連する...
- 第10回 フラビン依存性酵素の反応機構、...
- 第11回 ケモカインの構造、機能、進化 1
- 第12回 ケモカインの構造、機能、進化 2
- 第13回 機能性糖質の生命科学領域への応用
- 第14回 創傷治癒促進に関わる細胞および...
- 第15回 脂質代謝の破綻とそ

生体分子情報学理論【Pathophysiology and Structural Biochemistry of Biomolecules】(2013-68-20020m)

あなたは [] としてログインしています (ログアウト)

マイホーム ▶ 2013-68-20020m ▶ [eE-0][eJ-0]第4回 糖・脂質代謝の病態生理(1) 編集モードの開始

活動

管理

ナビゲーション

マイホーム

- サイトホーム
- サイトページ
- マイプロフィール
- 現在のコース
- 2013-68-20020m
 - 参加者
 - バッジ
 - 一般
 - 科目概要/ Subject outline
 - [eJ-0]第1回 心血管病のメカニズム(1)
 - [eE-0][eJ-0]第2回 心血管病のメカニズム(2)
 - [eJ-0]第3回 心血管病のメカニズム(3)
 - [eE-0][eJ-0]第4回 糖・脂質代謝の病態生理(1)
 - 糖・脂質代謝の病態生理(1)/Pathophysiology

ニュースフォーラム

◀ [eJ-0]第3回 心血管病のメカニズム(3) [eE-0][eJ-0]第4回 糖・脂質代謝 [eE-0][eJ-0]第5回 糖・脂質代謝の病態生理(2) ▶ の病態生理(1)

Title: Pathophysiology of glucose/lipid metabolism (1)
 担当教員： 山縣 和也 (Kazuya YAMAGATA)
 日時：6月26日(火)4時限
 ※ 日本語版は2009年度、英語版は2010年度の講義ビデオをもとに作成しています。
 制限(完全表示、ダウンロード): 2013年 06月 1日 から 2013年 12月 31日 23:59 まで利用可能です。

糖・脂質代謝の病態生理(1)/Pathophysiology of glucose/lipid metabolism 講義資料

Lecture (shooting: 2010)

- 1. Introduction
- 2. Insulin Action(1)
- 3. Insulin Action(2)

講義 (2009年度)

- 1. はじめに
- 2. 血糖値のコントロール
- 3. 糖尿病について(1): 1型糖尿病

Test

第4回 理解度テスト 4th Test (Yamagata) 理解度テスト

制限: 2013年 12月 31日 23:59 まで利用できます。

Course Menu

- 科目概要/ Subject outline
- [eJ-0]第1回 心血管病のメカニズム(1)
- [eE-0][eJ-0]第2回 心血管病...
- [eJ-0]第3回 心血管病のメカニズム(3)
- [eE-0][eJ-0]第4回 糖・脂質...
- [eE-0][eJ-0]第5回 糖・脂質...
- [eE-0][eJ-0]第6回 糖・脂質...
- [eEJ-0]第7回 タンパク質の一生を...
- [eE-0][eJ-0]第8回 AAAタ...
- [eEJ-0]第9回 ヒト疾患に関連する...
- 第10回 フラビン依存性酵素の反応機構、...
- 第11回 ケモカインの構造、機能、進化 1
- 第12回 ケモカインの構造、機能、進化 2
- 第13回 機能性糖質の生命科学領域への応用
- 第14回 創傷治癒促進に関わる細胞および...
- 第15回 脂質代謝の破綻とそ

3) eラーニングの分類に関する説明

eラーニングによる講義については、eE-0, eE-L, eJ-0, eJ-L, eEJ-0 および eEJ-L の6種類が、ありますので注意してください。

なお、このマーク表記は、各科目の講義日程のページに記載しています。

eラーニングコンテンツが完成次第、順次マーク表記を記載しますので、医学教育部HP

(<http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp/medgrad/keijiban/newpage1.htm>) で最新の講義日程を確認してください。

① eラーニングコンテンツに利用されている言語による分類

eE：英語で作成されたeラーニングコンテンツ

eJ：日本語で作成されたeラーニングコンテンツ

eEJ：英語と日本語を混ぜて作成されたeラーニングコンテンツ

② eラーニングコンテンツの講義への利用法による分類

-0：対面講義を実施することなく、eラーニングでのみ開講する講義

-L：対面講義が主体で、講義を受講できない学生に対して、補講としてeラーニングの受講を認める講義

③ 日本語のeラーニングコンテンツしか利用可能でない、eJ-0 および eJ-L の講義については、履修生に日本語を理解できない留学生がいる場合には、英語（+日本語）による対面講義が実施されます。 この対面講義は収録されて、将来 eE あるいは eEJ として利用されることがあります。

④ eラーニング分類の例示

eJ-L とは、対面講義を受講することを原則とするが、受講できない場合は、日本語で作成されたeラーニングコンテンツを補講として受講できる講義を意味します。なお、履修生に日本語を理解できない留学生がいる場合には、対面講義は英語（+日本語）で実施されます。